

## 平成28年度 節電コンクール 入賞取り組み (概要) 一覧

平成28年度節電コンクール受賞者の取り組み (概要) は以下のとおりです。

賞	学校・学年等	タイトル	取り組みの概要
最優秀賞 中学生の部	長沢中学校 3年	わが家の節電対策	節電対策として、エアコンのフィルターをこまめに掃除、カーテンの活用、冷蔵庫内にビニールのカーテンを施し、冷気を逃げないように工夫するとともに、開閉を素早くした、エアコンの室外機に日よけを取付け、温度の上昇を抑制、父親の定時退社日を「テレビを見ない日」とし、リビングで家族団らんやカードゲーム等を楽しみ、家族の消灯時間を23時とし、夜更かしをしないことで夜間の電気使用量の低減を図った。これらの取り組みの結果、家族の会話が増えた、冷蔵庫を開ける前に取り出すものを決めるようになった、家族全員の節電意識が高まった、電力使用量が前年度比で1日あたり4%の削減等の効果があった。
最優秀賞 小学生の部	望洋小学校 5年	夏の節電大作戦！！	夏の節電大作戦として、エアコンを使用する時は必ずまを開けて部屋を小さくするとともに扇風機を使用、帰宅後、換気してからエアコンをつける、緑のカーテンとして胡瓜、いんげん豆、パッションフルーツを栽培、体を冷やすためにおやつにかき氷を食べる、電気使用量のチェックを実施。それぞれの取り組みにおいて、結果を予想したうえで実施し、気温等の効果を調査し、調査の結果からどのように工夫したら良いか考察を行い、感想とともにとりまとめた。
優秀賞 (5作品)	浦賀中学校 1年	得する節電方法	自宅の環境・特徴を把握し、それを踏まえたうえで次の取り組みを行った。打ち水の代わりにベランダの花に水やりをした、朝、涼しい時間に窓を開放し、冷気を取り込み、簾で日差しを防ぎながら外気を取り込み、エアコンと扇風機を併用して、冷房効率を上げる、鈴虫を飼って納涼感を出す、家族全員が一つの部屋に過ごし、家庭内のクールシェアを行った(結果、家族の会話が増えた)、早寝早起きで夜間の消費電力を抑制等の取り組みを行った。節電結果として、通常時からの消費電力の削減量を確認する他、さまざまな取り組みの効果を把握し、イラストを交えてわかりやすく取りまとめた。
	浦賀中学校 1年	節電しながら家の中を快適に過ごす	節電の取り組みとして、ゴーヤやアサガオ等の緑のカーテンを育て、窓から直射日光が入らないようにした、網戸により風通しを良くした、日中はなるべく外出し、電気を使用しない、エアコン使用時は、一つの部屋に家族で集合し、設定温度を高くするとともに、扇風機を併用、エアコンを使わず、アイスや氷を活用する、畳やゴザを活用するといった取り組みを行った。その結果、緑のカーテンの効果により部屋の中が涼しく感じた、夕方以降は外気の活用によりエアコンの使用頻度が減った、アイスノン枕を活用することで、扇風機のみで寝ることができることがわかった。
	浦賀中学校 1年	節電対策	節電対策として、窓の外には簾をつけ、中にはカーテンをつけた、扇風機でエアコンの冷気を循環、就寝時にエアコンのタイマーを活用、冷蔵庫の中に食品を詰め込み過ぎないようにした、冷蔵庫のドアは素早く開閉、冷蔵庫内に専用のカーテンを付けた、電気ポットを止めてやかんでお湯を沸かす、炊飯器の保温機能は使わず、ご飯を冷蔵庫で保存、洗濯物の汚れているものは手洗いの後、スピードコースで時間を短縮して洗浄、フローリングでは掃除機を使わず、ぞうさんがけ等で拭き掃除等の取り組みをした。その結果、節電効果があったことを確認しただけではなく、節電を自分一人ではできないこと、家族みんなの協力が必要であることがわかった。
	高坂小学校 6年	部屋の温度の変化	部屋の温度を下げる事を目的に三種類の実験を時間と気温の条件をあわせて実施。実験 1は一番西日の当る部屋の窓に遮光カーテンを取り付けることによる気温の変化の比較。実験 2は、玄関のドアの窓に遮光カーテンを取り付けることによる気温の変化の比較。実験 3は扇風機に保冷剤をつけて使用した際の温度の変化の比較。それぞれの実験で気温の変化に効果があり、実験の結果から、家庭でもいろいろ方法で節電に取り組めることがわかり、また少しずつでも地球温暖化の問題について考えていきたいと思った。
	大楠小学校 5年	節電は未来を明るくする	家の中の照明をLEDに変更、エアコンの温度を28度に自動設定し、頻繁に電源を入れたり切らない、風呂の追いだし機能を使わず、家族で順番にすぐに入る、携帯電話や掃除機は夜間に充電、窓に日よけをつける、ソーラーパネルを設置、電気自動車を導入、節電について家族で話し合った。その結果、エアコンは28度設定で快適に過ごせたこと、節電により電気代がかなり安くなったこと、電気代が安い時間帯を知りきっかけとなったこと、タコ足配線をやめよう、と思うようになった。
佳作 (15作品)	浦賀中学校 1年	夏休み我家の節電作戦	古いエアコンの買い替えによって709Kwh電力削減の効果があった、エアコンの使い方の見直し(扇風機との併用、フィルターの掃除、室外機の周辺の整理、自動運転の活用)、涼感グッズの活用(涼しいインナーの着用、簾や風鈴、畳により納涼感を出す工夫等)等の取り組みを行った。夏場、最も電力の需要が逼迫する時間帯が日中の13時～16時であることから、夏のエアコン対策が重要と考え、家族とエアコンの買い替え・使い方について話し合い、節電を実践した。節電を意識することで、他の色々なことにも節電や地球環境の保護について関心をもって行動するようになった。例として、ごみの分別、捨てる方のルールを守る、早朝の涼しい時間に勉強する、整理整頓を心がける等、ちいさな取り組みが大きな節電につながるのではと考えるようになった。
	浦賀中学校 1年	継続的に行っている節電方法	節電方法として、冷房の設定温度は28度以上、冷蔵庫をあけっぱなしにしない、一日中冷房をつけない、以上の三点を家族で継続的に行っている。その結果、平成26年度から平成28年度の三年間を比較した結果、電気代が毎年、約3～4千円ずつ下がった。これを踏まえ今後も取り組みを継続したいと考えた。
	浦賀中学校 1年	2階封鎖作戦	理由がない限り、家の2階の電気の使用を禁止し、勉強や趣味は全て1階のリビングで行った。ただし、電気を使用しないならば2階にいても良いというルールで過ごした。その結果、昼間の電力使用量が半分になった。また、騒がしい場所で勉強をしたので、集中力があがった(ような気がする)。
	浦賀中学校 1年	7つの節電条約	必要のない場所は消灯、古い家電製品の買い替え、クーラーは28度に設定、冷房時はドアを開け切る、夏場はグリーンカーテンや打ち水、うちわを活用して涼を取る、就寝時は窓を開けて風通しを良くする、風鈴を使うという七つの節電条約を自分で取り決めた。その結果、古い家電製品を買い替えることで電気代が安くなった、クーラー使用時に部屋を閉め切ると早く涼しくなった、クーラーや扇風機を使わずとも、風通しを良くすれば涼しく過ごせた、風鈴によって納涼気分を味わうことができた。

浦賀中学校 1年	風を工夫した節電	洗濯にお風呂の残り水を使用、就寝時に完全消灯、炊飯器の保温は使わない、使わない家電はコンセントを抜く、エアコンの使用を控えるため打ち水、打ち水には米の砥ぎ汁やお風呂の残り湯を冷まして使用、部屋の風通しを良くするため、カーテンをアーチ状に固定、風のある日には家の窓を開けて外気を取り込む等の取り組みをした。その結果、打ち水で家の中に熱風が入らなかった、打ち水にお風呂の残り湯や米のとぎ汁を活用して水道代を節約、消灯して寝ることや炊飯器の保温を使わないことで電気代を節約、カーテンをアーチ状に固定することで光を遮りながら、風通しを良くすることができた。
浦賀中学校 1年	節電のために出かけよう	なるべく家にいないようにし、家にいる日といない日の家電製品の使用状況や電力使用量を比較した。その結果、全員で出かけた日は節電効果があったが、一人で出かけた日はあまり節電効果がなかった、全員が家にいた日は節電効果がなかったことがわかった。このことから、留守の日は電気の使用量が少ないこと、そして今後、家にいる日の節電(例:家族全員で一つの部屋で過ごす等)について考えたい。
浦賀中学校 1年	家族と協力して節電をす るとともに健康に過ごそう!	一つの部屋に家族で集まって過ごす、夏にエアコンを使用する前に換気をし、温度設定を28度にしたうえで、扇風機と併用する、外で遊ぶ、使用していない家電のプラグは抜く、夜は早く寝て、朝は早く起きる、という取り組みを行った。その結果、一つの部屋に集まって過ごすことで、照明やエアコンの電気代を節約した、換気によりエアコンの風力を抑制した、エアコンを28度に温度設定するめにより、体を急激に冷やすことを防いだ、扇風機で効率よく部屋を冷やした、外で遊ぶことで運動になり、健康に良いだけでなく、公共施設(図書館など)を活用することで自宅の節電を行った、使用していない家電のプラグを抜いて、待機電力を削減、早寝早起きで節電できた上に健康になった。こうして、節電は健康につながると思った。
浦賀中学校 1年8組	節電のために 今、私にできること	図書館や青年の家等の公共施設を利用、プールや夏の水かけイベントに参加し、ひんやりと楽しく過ごす、クーラー使用時はドアを閉めて、冷やす空間を狭くする、緑のカーテンを育てる、家族全員でひとつの部屋にまらって過ごす、サーキュレーターを併用、就寝30分前にクーラーを切って、保冷効果が続くように部屋を閉め切り、冷蔵庫は素早く開閉するとともに、庫内の整理、シャワーの温度を低く設定、アイス枕を活用、電気使用量をチェックする等の取り組みを行った。その結果、夏しかできない遊びを楽しむとともに、皆が集まる場所を利用して、快適に過ごせた、一つの部屋に家族が集まって過ごすことで団らんが生まれた、空間を狭くし、換気、遮熱によって、冷房を効果的に利用できた、就寝30分前にクーラーを切ることで節電につながった、冷蔵庫のドアの開閉後の温度変化の調査を行い、夏は開閉回数を減らすことや素早く開閉することを意識することが大切だと思った、今年の8月と今年の同月を比較すると電気使用量が15%減少した。
浦賀中学校 1年	グリーンカーテンの利用	1階の窓にグリーンカーテンを設置して、冷房を使わなくても涼しく過ごせるようにした。その結果、グリーンカーテンを設置していなかった昨年と比べ、冷房を使わなくなり、電気代も安くなった。また、外からみても中が涼しそうに見えるようになった。日差しが遮られるので、熱中症を防ぐことができた。
浦賀中学校 1年	普段の生活から意識して	エアコンの消費電力が他の家電と比べて多いことが分かったので、冷房の温度をいつもより高めに設定することで、節電の効果が高いと推測し、実行した、シャワーは電気代、水道代、ガス代と3つの使用料金が発生するので、シャワーの使用時間を減らすことで、大きな節電になると推測し、実行した、風呂からあがる時に体についている水滴をとることで、タオルの使用頻度を下げることで、それにより洗濯機の使用回数を減らせると推測し、実行した。その結果、具体的にはわからないが、母親から効果があったと聞いた。今後も節電の取り組みを増やしていきたい。
浦賀中学校 1年	公共の場を利用しよう!	家のクーラーを使わないよう、図書館やコミュニティセンター等へ行く、家にいる時は冷房の設定温度を27度以下にしない、冷気が逃げないように、部屋のドアや窓はしっかりと閉める、夜は早く寝て照明を使わないようにする、冷蔵庫の開閉回数を減らす、という取り組みをした。その結果、周囲の家庭より電気代が安くなった、公共施設の活用により、地域の人々との関わりが増えた、ドアをしっかりと閉めることでクーラーの涼しさが持続した、早寝によって電気代が安くなり、早起きも習慣化された。
浦賀中学校 1年	クーラーの風でなく 自然の風と少しの工夫で	日差しが防げるよう、外にテントのようなもので日陰を作る、寝る1時間前に窓を網戸にして風通しを良くする、氷枕を使う、起きたら全ての部屋の戸と窓を開けて換気し、電気をなるべく使わないよう意識した。その結果、電気を使わずに涼しくなり、節電につながった、夏にびったりなやり方で自分や家族にもプラスになった、地球環境を考えながら、「節約」を意識しようと思った。
望洋小学校 4年	オレは、節電リーダー	太陽光発電による発電モニターがあるので、家の中の電気使用量を調べた。その結果、太陽が出ている間は、屋根の上で発電した電気をまず家庭で利用していること、発電モニターにより、時間帯における電力使用量や、エアコンや掃除機等の家電の電力使用量等がわかった。また、節電に気を遣わなかった7月と、節電を意識した8月の電力使用量を折れ線グラフにして比較。これらの調査結果により、無駄にした電気が多かった、家庭の使用量を上回る発電分は売電できるので、なるべく節電しようと思った、本当に必要でないときは電気を使わなくなった、発電モニターを見ながら、節電を楽しんでいこうと思った。
望洋小学校 4年	地球にやさしい節電	玄関ドアに網戸をつけて、風通しを良くし、部屋の窓も開放、使わない電気はまめに消す、お風呂の残り湯で打ち水、電気代が安い夜10時以降に洗濯、エアコンと扇風機を併用して冷房効率を上げた、夏休みの間、毎日、お姉さんとお風呂の残り湯を使って拭き掃除等の取り組みを行った。その結果、玄関の網戸により風通しが良くなり、エアコンを使う回数も減った、お風呂の残り湯の活用によって、水道の節約になり、節電につながった。また、自宅に設置された太陽光発電システムによって、日中の電気使用に対する料金がかかっていることから、節電も大切だが、自ら発電することも大切と考えた。
大楠小学校 1年	れいぞうこのせつでん	夏のどが渴くので、飲み物を出すために家族で冷蔵庫を日に30回以上開けてしまうので、氷をたくさん入れたクーラーポットに飲み物を入れて飲めるようにした。その結果、冷蔵庫を開けなくてもいつでも冷たい飲み物が飲め、3歳の妹も一人で飲み物を飲むことができるようになり、そのうえ節電にもなったので良かった。